



別海町立中春別中学校



学校だより

令和6年1月31日 発行 校長 葛迫 勝秋

中春別地区 CS めざす子ども像：【中春っ子 未来を拓こう みんなの笑顔】

教育目標：～自らの未来に向かって、目標を高く持ち、仲間と協調しながら前向きに挑戦する子どもを育てる～

## あたりまえの質の向上を願い

校長 葛迫 勝秋

### 3 学期始業にあたって

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年も未来を担う子どもたちの健やかな成長に向け、教職員一同、本校教育の充実・発展に努めて参りますので変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

能登半島地震においては多くの方がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りするとともに、子どもたちが1日も早く笑顔で過ごせる日々が来ることを切に願います。始業式では最初に今回の震災に触れ、この出来事からの教訓として改めて心もからだも物資も万全の準備の必要性を再認識し、命を守る行動ができるよう心がけておくことを伝えました。

私たちの住む道東も地震の多い地域です。大きな地震がいつ起こるかわかりません。今ある平和で幸せな日々があたりまえのことではなく、多くの人に関りや支えによって成り立っていることを今一度心に留めておきたいと痛感したところです。

3学期始業にあたり、その他に生徒たちに伝えたことです。

3年生：いよいよ4月からの未来の扉を開く時。3学期はそのための集大成の時間。

2年生：最上級生に向けての最終準備の時期。3年生になるための0学期。

1年生：やがて入学してくる後輩たちの手本となり、上級生の皆さんから多くのことを吸収する先輩への準備期間。

次への「準備」は「特別なことをする」のではなく、これまでの自分を振り返り、やってきたことに対する「あたりまえのこと」に目を向けること。

### ～～あたりまえの質の向上は一人一人の心がけ～～

昨年の終業式に2023年の振り返りとしてひとり一人に考えてもらった継続や改善事項、そして2024年に挑戦したいことも含め、自分や仲間たちの生活のなかにある「あたりまえ」が質の高いものとなるように過ごしてほしい。

あたりまえのことに目を向けるということは意識しない限り過ぎ去っていきます。「あれ？」と立ち止まったり「本当にそれでいいの？」と考え直してみることや目標や期限を設定しながら継続、改善、そして挑戦することが、あたりまえの質を高める秘訣ではないでしょうか。